

オンラインで学科教習



大垣、大垣南自動車学校

人気VTR教材活用

1日から

大垣自動車学校（大垣市荒川町）と大垣南自動車学校（養老町祖父江）は、10月1日から学科教習でオンライン配信を導入する。オンライン教習は西濃地域初で、新型コロナウイルスの感染対策。いつでもどこ

でも受講でき、教習生の通学負担も減る。学校では「配信内容も充実しており、時代に合った質の高い教育が提供できる」とアピールしている。

小中学校、高校ではタブレット端末が配られ、家庭

オンラインを使った学科教習のデモンストレーション＝大垣市荒川町、大垣自動車学校

ではリモート環境が整う。教習生の大部分を若者が占めることから両校でもオンライン教習に踏み切った。県内では既に中濃地域で2校が導入している。

オンライン教習は普通自動車免許の学科が対象で、全26時限中、応急救護や危険予測などを除く21時限で行う。一方で、従来通りの対面教習も実施時間を減らして残す。

アニメーションや若者言葉を取り入れた人気VTR教材などを基に、学校の指導員が授業を展開。親しみやすさに配慮した。質問など双方向のやりとりもできる。今後、交通法規の改正などを機にさらなるバージョンアップを加える。

受講する教習生の様子は認証システムでチェックされ、その場にいなかったり、スマートフォンなどで遊んでいたりとすると受講済みと認められない。

今月から試行を始めてお

り、一部教習生からは「時間が有効に使える」「内容が分かりやすい」と好評だ。既に導入している先進校によると、リモートでも対面でも学科の合格率はそれほど変わらないという。

両校を運営する岡田正昭社長は「学校としては教習を効率化でき、スタッフを实地指導に回すことができる。さらに喜ばれる自動車学校を目指したい」と話している。

（松尾法尋）